

2022年 年頭の

あ

けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、お健やかに新年を迎えることとお慶び申し上げます。昨年も、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症に悩まされた年でした。

本町では、猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の対策として、2回にわたるワクチン接種が順調に行われ、町民の皆さまの安堵感に繋がりました。関係者の御尽力に、心より感謝を申し上げます。今も変異株が横行し予断を許しませんが、今年こそ、コロナ収束を願うものです。

一方、コロナ禍にあつて、一年延期となっていた東京オリンピック・パラリンピックは、無観客での開催となりましたが、各国の選手の活躍に多くの感動をいただきました。本町での聖火リレーの祭典もコロナ対策の下、成功裏に終了しました。

また、本町では、新たに、歴史民俗資料館が完成し、一昨年の豪雨災害で片側通行となっていた滝野地内の国道348号線も年末に全面開通しました。

先人の暮らしや知恵に学び、災

害等の教訓を忘れることなく、将来に受け継いでいきたいものです。

このような中、議会では、新型コロナウイルス感染症対策とその影響による経済活動の立て直しについての政策提言を町長に提出しました。コロナ禍で先行き不透明な状況にありますが、新年を迎え、求められる持続可能な社会の構築に向けて、一部の人のだけでなく、誰一人取り残さないグローバル社会、豊かなデジタル社会といった、コロナ後を見据えた白鷹創生に一層の創意工夫が必要と考えます。

町議会は、コロナ禍、人口減少、少子高齢化、過疎化等の課題が山積する情勢の中で、これらに柔軟かつ的確な対応をしながら、地方自治体の意思を決定する機関として、また、執行機関を監視する機関として、政策形成や多様な住民の意見の集約・反映をしっかりと行い、町民の皆さまの負託に応える議会運営をしてまいります。

結びに、新しい年が、すべての町民の皆さまにとり、健康で笑顔で暮らせる良い年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



「白鷹町の未来のために、新しい時代を築いていく」

白鷹町議会議長 今野 正明

ごあいさつ

迎春

2

022年の年頭にあたり、町民の皆さまに謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、「一人、そして地域がつながり輝き続ける潤いのまち」の推進にご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との闘いが2年に及ぼうとする中で、昨年はコロナ対策の要であるワクチン接種を実施いたしました。9月末で接種を終了し、約90%という高い接種率となっております。県内においても、本町は早い段階から接種率が高い状況にあり、ひとえに町民の皆さまのご理解があったからこそと改めて感謝を申し上げます。1月末からは、3回目となるワクチンの追加接種を行ってまいります。町民の皆さまが、一刻も早く元の生活に戻るよう、引き続き町としても全力を挙げていく所存であります。

また、このコロナ禍においても、感染症対策を取りながら様々な取組が行われてまいりました。特に昨年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、6月には、本町においても聖火リレーが行われました。8人のランナーが平和と希望のメッセージが込められた聖火を繋いだ、歴史的な瞬間とな

りました。

さらに、11月3日には、脱炭素社会の実現に向け、ゼロカーボンシティ宣言を行いました。これまでも、白鷹町まちづくり複合施設の建設・整備にあたり、本町の貴重な森林資源を活かし、伐採から製材・乾燥、施工までの工程を一貫して町内企業が請け負い、森林資源を持続的に循環させる「緑の循環システム」構築に向けた取組を実践してきました。今後もSDGsの視点をふまえ、本町の特徴を活かした持続可能なまちづくりを進めてまいります。

さて、本年も、引き続き新型コロナウイルス感染症対策及び経済対策に万全を期すとともに、最大の課題である人口減少対策に向け、様々な施策を講じてまいります。まずは、安心して子育てできる環境を整備し、さらなる子育て支援の充実を図るため、県内初となる全年齢での保育料無償化を実施いたします。加えて、教育の充実、高齢者の生活支援、交通網の整備などの施策を着実に進めていく所存です。

結びに、本年が皆さまにとりまして健やかで幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

「新たな将来像の実現のため、一步一步着実に進めていく」

白鷹町長 佐藤 誠七

